

れき みん

となん歴民だより vol.69

Morioka tonan history and folklore museum

令和4年3月31日発行

発行 盛岡市都南歴史民俗資料館 盛岡市湯沢 1-1-38 Tel/Fax 019-638-7228



錦絵「歌舞伎十八番之内 勸進帳」

初代歌川国貞（三代豊国）〈1786-1864〉

明治23年（1890） 版元 片田長治郎

3枚続き。右から 番卒（大谷馬十）、富樫左衛門（市川左団次）、武蔵坊弁慶（市川團十郎）、亀井六郎（中村勘五郎）、源義経（尾上菊五郎）、伊勢三郎（市川小団次）。

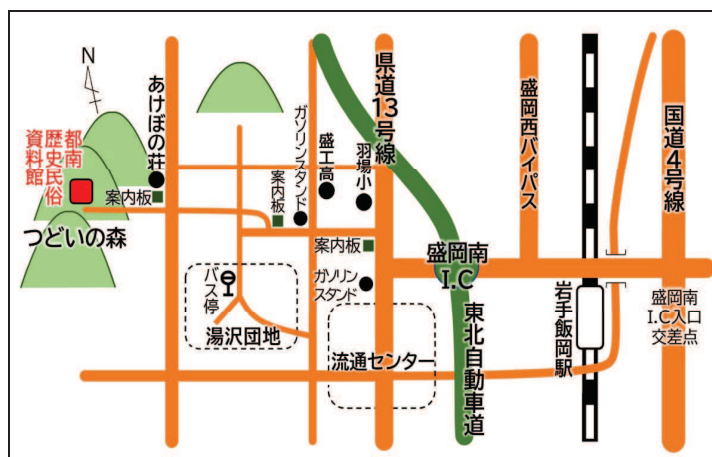
是非ご来館ください。お待ちしております。

— もくじ —

- 収蔵資料に見る都南の疫病
- 資料は語る (69)
- 盛岡市所在
指定・登録文化財紹介 (69)
- 「となん歴民だより」のバックナンバーについて

MAP☆ACCESS

★「都南つどいの森」の案内板を目印にお越しください★



○利用案内

開館時間

午前9時から
午後4時まで

入館料

無料

休館日

月曜日
(休日に当たるときは、直近の平日)、
年末年始

収蔵資料に見る都南の疫病 ～企画展「災いを乗り越えて」から～

都南歴史民俗資料館では、令和3年11月13日（土）～同4年1月16日（日）の期間に企画展「災いを乗り越えて」を開催いたしました。本稿では展示資料の中から病にまつわる資料をご紹介します。

一定の時期に大多数の人が同様の症状にかかる病気を「^{えきびょう}疫病」と呼びます。疫病は古くから存在し、『古事記』『日本書紀』にも記述があります。現代ではウイルスや細菌の感染が原因であると判明していますが、当時の人々にはなすすべもなく、まじないや加持祈禱、または隔離が主な対処方法でした。

状況を改善したのはワクチンの登場でした。人類史上初の予防接種である牛痘接種法（^{ぎゅうとう}種痘）が1796年に開発され、以降多くの医師や研究者らの不断の努力により次第に疫病の脅威は減少しました。一方でエボラ出血熱や新型コロナウイルスといった新たな伝染病も現れています。

1 天然痘 ～都南で発生した疫病の実例1～

天然痘（^{ほうそう}痘瘡、^{とうそう}痘瘡）は天然痘ウイルスによる感染症です。子どもや妊婦など体力の無い人が罹患すると重症化し亡くなることが多く、たいへん恐れられました。一命を取り留めたとしても体中に現れた発疹が^{のうほう}膿疱（うみ）となり、跡があばたとなり残ります。独眼竜こと仙台の伊達政宗が右目を失明した原因も天然痘です。

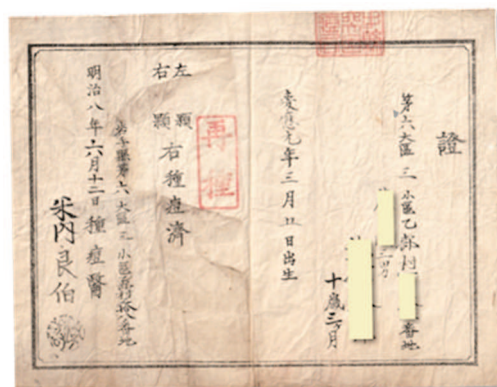
有効な治療法が発見されるまで「痘瘡神」の怒りが原因と考えられ、人々は痘瘡神を村の外へ送り出す行事を行い、痘瘡神が嫌うとされる赤色の玩具や赤一色の刷り物「赤絵」を手元に置きました。

一度感染した者は二度とかからないという経験則をもとに、イギリスの医師ジェンナーが「牛痘接種法」を開発し、日本でも嘉永2年（1849）に初めて接種に成功しました。依然何度も大きく流行し多くの命が失われたものの、昭和55年（1980）にWHOにより天然痘根絶宣言が出されました。

資料1 種痘済証 明治8年(1875)

旧乙部村の10歳男児が種痘を済ませた証明書。施術医は同じ乙部村の種痘医米内良伯である。

なお、『となん歴史民だより』vol.67「資料は語る」でも旧湯沢村の13歳男児の種痘済証（明治10年、1877）を紹介した。



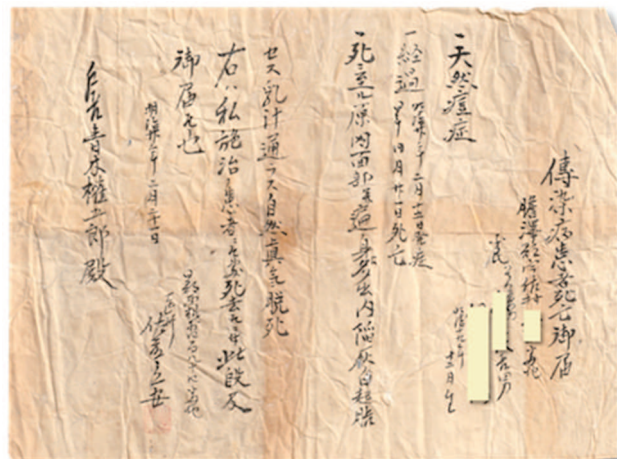
資料1 種痘済証

資料2 伝染病患者死亡届 明治20年(1887)

胆沢郡宇佐村（現：奥州市水沢佐倉河）の乳児が天然痘で亡くなった際の死亡届で、医師が戸長（村長にあたる）に届け出たもの。旧乙部村地域で下張り文書として発見されたため、当館に保管されている。

患者は明治19年（1886）12月誕生、翌年2月21日に亡くなっており、わずか2か月ほどでこの世を去った。2月15日の発症からわずか6日後に死亡しており、天然痘の恐ろしさがわかる。

医師の所見によると、顔や全身に発疹が出て、^{のうほう}膿疱が起脹（^{きちやう}膿がたまって盛り上がる）することする前に母乳を飲む体力が無くなり衰弱死したようだ。



資料2 伝染病患者死亡届

2 赤痢 ～都南で発生した疫病の実例2～

赤痢は排泄物を通じて感染するため、衛生環境の悪化に伴い流行しました。激しい下痢と便意があり、便には血や膿が混じり赤くなるため「赤痢」と呼ばれました。

明治30年(1897)に志賀潔が赤痢菌を発見したものの、衛生環境が整わず昭和期、戦後も流行しました。下水道が整備され、農地の肥料が人糞から化学肥料へ切り替わったため感染者は減少しました。

資料3 伝染病諸費実費支払帳

明治32年(1899)

明治32年(1899)、赤痢が大流行し岩手県内では14,324人もりびょうの罹病者が出た。旧見前村も例外ではなく、村役場では8月6日から9月21日にかけて隔離病舎を開設した。

当館には隔離病舎の運営や伝染病対策に要した費用の記録文書が保管されており、中に綴じられた「伝染病患者調書」から感染者数などがわかる。

- 伝染病患者25名、うち赤痢患者24名
- 伝染病死亡者9名、うち赤痢による死亡者8名
- 隔離病舎に収容されたのは16名

参考までに、同年(明治32年)の見前村の人口は3,071名である。

隔離病舎の所在地など詳細は不明だが、人員や物品の手配、郡役所への届け出の手配などが書き込まれており、当時の苦勞が偲ばれる。



資料3 伝染病諸費実費支払帳

3 トラコーマ ～都南で発生した疫病の実例3～

細菌による感染症で、繰り返し感染し悪化すると逆さまつげになり角膜を傷つけ失明に至ります。日本ではドイツ語読みで「トラホーム」と呼ばれていましたが、現代は英語読み「トラコーマ」に名称が統一されています。

かつての日本ではかなりの割合の若者が感染しており、トラコーマによる失明者も多くいたようです。

資料4 「トラホーム」検診施行通知書

昭和17年(1942)

旧飯岡村でトラホーム検診を行う旨通達した文書である。

末尾に「当日受検セザル者ハ予防法施行細則ニ依リ科料ニ処セラル、」とあり、検診は法律に基づくもので受診しない場合は罰金を支払わなければならないことがわかる。



資料4
「トラホーム」検診
施行通知書

4 腸チフスなど ～都南で発生した疫病の実例4～

資料5 診断書綴(死亡届)

明治12年(1879)

右の写真は、西見前の医師宮崎茂好が明治11年(1878)に看取った死亡患者をまとめ、村の役所に提出した一覧表の一部である。最も多いのは「傷寒しょうかん」で、現代でいえば腸チフスなどにあたる。

感染症以外の死因として中風ちゅうふう、霍乱かくらん、破傷風、喘息、産後衰弱、梅毒などがみられる。



資料5 診断書綴(死亡届)



【陶製湯たんぽ】

西見前のお宅で使用された陶製の湯たんぽである。中に湯を注ぎ布や布袋で包んでから寝床に入れ、睡眠時に足や身体を温める道具だ。

古くは陶製で蒲鋒形や円筒形のものが用いられていたが、昭和初年頃からブリキ製の小判形で両面が波状に凹凸したものが主流になった。しかし戦時中は物資統制のため金属類が使用できず、再び陶製が用いられた。戦後はプラスチック製が普及し、現在もエコロジーな暖房器具として形を変え根強く利用されている。

本資料は普遍的な形で刻印等も見当たらないため製造年代等の推定は難しく、決して多くを語る資料ではない。とはいえ無骨ながらも温かみを感じられる質感が目を引く一品だ。



ささきけじゅうたく / ふじのけじゅうたく 佐々木家住宅 / 藤野家住宅

所蔵ならびに写真提供：岩手県立博物館

岩手県立博物館敷地内には2棟の茅葺き屋根の民家が移築復原されており、特徴を比較できます。

佐々木家住宅 (写真左) は旧盛岡藩領に多く見られる「曲り家(曲り屋)」です。もとは下閉伊郡岩泉町指畑さしはたけにあり、18世紀中頃の建築と推定されています。平面はL字型をしており、向かって右手に馬屋、左手に主屋があります。主屋の住居部分は田の字型の間取りです。

藤野家住宅 (写真右) は旧仙台藩領に分布する「直屋すぢや形式の農家住宅です。もとは奥州市江刺区伊手にあり、18世紀後半頃の建築と推定されています。平面は長方形で、馬屋は外にありました。居住部分くいちがは喰違よまい四間取りです。

参考文献等：盛岡市教育委員会『もりおかの文化財』(2008)
岩手県立博物館『岩手県立博物館ガイドブック』(2010)
岩手県立博物館デジタルアーカイブ

『となん歴民だより』のバックナンバー(過去の号)は 盛岡市公式ホームページで閲覧できます

『となん歴民だより』第1号から最新号までのPDFファイルをウェブ上で公開しています。以下にアクセス方法の一例をご紹介します。※令和4年2月現在の情報です。

①URL <https://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/kinenkan/tonanrekishi/1000860.html>

②広報ID

盛岡市公式ホームページにアクセスし、
トップページ上部の検索窓で「広報ID」を選択、
「1000860」と入力し「表示」

例えば「志和稲荷街道」について知りたい方には

Vol.28 「志和稲荷と稲荷街道」 近世文書研究所主宰 工藤利悦氏
Vol.29 「稲荷街道・高畑峠から」 岩手城郭研究所 高橋博恭氏
Vol.30 「稲荷街道・櫛林」 岩手城郭研究所 高橋博恭氏
がお勧めです。

